



製品名 : L-OSMO 反応型 XP (エルオズモ反応型 XP)
用途 : 新設特化型
種類 : 反応型けい酸ナトリウム系コンクリート表面含浸材
標準塗布量 : 400 g/m² (200 g/m² × 2 回塗り)

施工要領



- ・材料の確認：商品名、荷姿、数量等。
- ・機器の確認：高圧洗浄機、刷毛、ローラー、噴霧器、その他。
- ・水道水：散水、洗浄等には水道水を使用すること。

【湿潤状態】
目視状況：全体に濡れ色が残っている状態
指触状況：わずかに指が湿る程度
含水率：約7%

- ・薬剤及び前処理や素地調整に伴って発生するコンクリート殻や粉じん、洗浄水が施工箇所周辺に飛散し、汚染の恐れがある場合には養生を行う。
- ・周辺のガラスや金属に薬剤が付着すると固結して取れなくなるので注意すること。

- ・下地処理：ひび割れ注入や著しい凹凸の平滑処理等。
- ・劣化部除去：劣化因子を含有した部分及び脆弱部分の除去。
- ・断面修復工：除去した箇所や欠損箇所の修復。

- ・薬剤の含浸を阻害するコンクリート表面の物質を高圧洗浄やブラスト処理、電動工具等で除去する。
(ほこりや汚れ、剥離剤等の油脂類、レイタンス、苔、既存の表面被覆材等)
- ・洗浄が不足するとコンクリート表面が白化する場合があるので注意すること。
- ・研磨剤がコンクリート表面に残存しないように注意すること。

- ・施工面に適切な量の水道水を散水し湿潤状態とする。
- ・素地調整工程で水道水での洗浄を行っている場合は省略可。

- ・湿潤状態で薬剤の原液を刷毛、ローラー、低圧噴霧等で均等に 200 g/m² 塗布する。
- ・原液を容器のままよく混ぜること。
- ・ロス率：上向き 15%・横向き 10%・下向き 5%。

- ・塗布後 30 分程度湿潤状態で養生する。
- ・必要であれば適切な量の水道水を散水する。

- ・湿潤状態で薬剤の原液を刷毛、ローラー、低圧噴霧等で均等に 200 g/m² 塗布する。
- ・原液を容器のままよく混ぜること。
- ・ロス率：上向き 15%・横向き 10%・下向き 5%。

- ・塗布後 30～45 分程度湿潤状態で養生する。
- ・必要であれば適切な量の水道水を散水する。

- ・高圧洗浄、デッキブラシ等で塗布面の残存薬剤を洗い流す。
- ・洗浄が不足するとコンクリート表面が白化する場合があるので注意すること。
- ・後施工（表面被覆、断面修復等）がある場合は、高圧洗浄を推奨。(10MPa 程)

- ・廃棄物関連法令に従って余った内容物、容器を廃棄する。
- ・養生材等を撤去し、張り跡がある場合は速やかに取る。
- ・除去した養生材や施工で発生したごみ・空容器等は指定場所に整理し処分する。(現場打合せ)
- ・周辺のガラス・金属に薬剤が付着している場合にはただちに流水で洗い流す。
(固着した場合は傷が付かないように注意してサンドペーパーで削り落とす)

施工上の注意事項

- 必ず原液で使用する。
- 強アルカリ性なので、作業の際には直接、眼や手につかないよう防護すること。
- 散水、洗浄等に使用する水は、必ず水道水を使用すること。
水道水以外の水を散水、洗浄等に使用すると、水に含まれる成分と薬剤が反応し、コンクリート表面が白化する場合があるので注意すること。
- 施工前に酸洗いはしないこと。
- 沿岸部及び融雪剤（塩化カルシウム等）を使用する構造物に施工する際は、カルシウム、マグネシウム等の影響を受けコンクリート表面が白化する場合があるので注意すること。
小面積での試験施工で薬剤が反応しないことを確認し、十分に洗浄した上で施工すること。
- サンドブラスト後コンクリート表面に残存する研磨剤（アルミナ系等）と薬剤が反応し、薬剤の含浸を阻害し十分な改質効果を得られないことやコンクリート表面が白化する場合があるので注意すること。
研磨剤と薬剤が反応しないことを確認し、研磨剤がコンクリート表面に残存することのないように清掃した上で施工をすること。
- 防水材料やシラン系表面含浸材を過去に施工した箇所への塗布は、場合によっては薬剤の含浸が阻害されることがあるので注意すること。
- 塗布作業および養生は、5℃以上の環境で行うこと。
（冬期間は、採暖による作業・養生環境が必要）
- 施工環境が30℃を超える場合には、施工面に散水をすること。
- 施工に当たっては、部位によりロス率を勘案すること。
ロス率：上向き15%・横向き10%・下向き5%。
- 強風時に低圧噴霧で施工する場合は、設計塗布量を塗布できない恐れがあるので注意すること。
- 悪天候の場合は薬剤が流れ落ちるので施工しないこと。
- 塗装された面や、ガラス、金属に誤って薬剤が付着してしまった場合には、ただちに流水で洗い流すこと。
場合によっては固結して取れなくなるので注意すること。
- 天井面や表面に凹凸がある部位は、水滴ができやすく薬剤が表面に残り、コンクリート表面が白化する場合があるので注意すること。
- 塗布後の洗浄が不足するとコンクリート表面が白化する場合があるので、十分に洗浄すること。
- 後施工（表面被覆・断面修復等）がある場合は、薬剤がコンクリート表面に残存することのないように高圧洗浄すること。（10MPa程度）
- 開封後は使い切ること。
- 廃棄物関連法令に従って余った内容物 / 容器を廃棄すること。

保管上の注意事項

- 5～40℃の直射日光を避けた環境で施錠して保管すること。
- 冬季の寒冷地域では、薬剤の凍結に注意すること。
（出荷は凍結防止のためクール便で対応）
- 品質試験結果報告書に記載されている使用期限を遵守すること。
使用期限：出荷から1年間。

SDS（安全データシート）

- 取り扱いにあたっては必ず SDS に従ってください。



SDS